

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

こんなときこそ、チェックしておきたい家計の3つのポイント

発行者：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野FP事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 392 号の目次>

■ 今週のテーマ

こんなときこそ、チェックしておきたい家計の3つのポイント

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

こんなときこそ、チェックしておきたい家計の3つのポイント

*:**

憂うつな日々をお過ごしの方もみえると思います。

このような時は将来への不安を、
ご自身で増大させてしまうかもしれません。

そこで今回は、
気になる方には気になってしまう、

ご自宅の家計について、

チェックすべき基本的な3つのポイントを、
お伝えしてまいります。

チェックする項目は、いつも変わらない

私たちの家計収支は、

- ・ 収入
- ・ 支出
- ・ 貯蓄または貯蓄を含む資産

この3つの項目のバランスによって成り立っています。

従って、どんな時代であっても、

この3要素以外には、
家計を成り立たせるものは、
見当たらないといってもよいでしょう。

「そんなことはわかっている！」

という方もみえると思います。

そこで改めて、
この3つの要素、

つまり、家計の基本を確認することにします。

(1) 収入

最初は、収入です。

収入は、家計を支えていくものです。

そこで、この先の生涯の収入を確認します。

そのためには、

人によって異なりますが、

現在とこれからわかる範囲内の、

給与、事業収入、年金、

保険商品の満期返戻金、

株式など、金融商品で運用した、
配当金や分配金や売買で収益など、

すべて収入として、その金額を調べます。

ここで算出した収入は、
年収ベースで、確認してください。

今までは、毎年いくらだったのか？

この先は、毎年、生涯いくら見込めますか？

年金も「ねんきん定期便」や
勤め先からの年金も含めて算出してみてください。

退職一時金も収入に含みます。

この先、収入が不透明なところは、
ここは客観的に、
その年の収入は「0」円で計上します。

また、今後現金を遺産相続など、
受け取る見込みがあれば、
その方に裁量で、
将来の収入にカウントしても良いかもしれません。

(2) 支出

支出については、

収入は、途絶えることがあって、
生活していく上で、
途絶えることはありません。

毎年、家計から必ず出ていくお金です。

年単位で、
支出も計算していただきたいのですが、

算出するにあたっては、

このメルマガの先回の第 391 号、
「これからの家計推移の対応方法」も、
ご一読いただき参考にしてください。

なお、第 391 号では、
「直近」に、収入が減少した場合は、
1. その分、支出を減らす
2. 貯蓄を取り崩す
といった方法を記載しています。

一方、今回は、もっと大局的に、
今後の家計収支について記載しています。

そして、支出を算出するにあたって、
電気水道や保険料など、
毎月決まった額が家計から出ていくのか、

毎月決まった額ではないが、
大体このぐらいの額が出ていく。

といったように、

支出の内容を大きく 2 つに分けて計算してください。

まずはここまで、算出します。

(3) 貯蓄・資産

貯蓄・資産については、

銀行の預貯金など、
すぐに現金として使える額と、

不動産、金や骨とう品など、
すぐに現金化はできない資産に分けて、

その資産を今売却したしたら、
いくら位の値が付くかを調べて、
その金額を計上します。

将来の家計収支をシミュレーションするために

上記の

- ・ 収入
- ・ 支出
- ・ 貯蓄・資産

を算出したら、ここからが大切です。

算出した数字を見て、

もし、現在より収入を増やしたいなら、

単純に、今より高収入が期待できる職種に、
転職などが必要かもしれません。

しかし、それは現在現役世代なら、
可能かもしれませんが、
特に、退職後は難しいかもしれません。

収入が、増えなければ、
先回の 391 号でお話した繰り返しになりますが、

支出を減らすか、
貯蓄を取り崩す方法が持ちいられます。

支出を減らすには、

生活費を節約したり、
加入中の保険商品の見直したり、

といった、そのご家庭にできる、
支出を減少する方法を探します。

また、貯蓄を取り崩す場合は、

老後の生活のために貯めたお金を取り崩すにしても、

年金収入の額や毎月の家計支出を見ながら、
計画的に取り崩していかないと、

高齢になってから、
家計が破たんする恐れもあり、

慎重に対応することが重要になります。

また、不動産などの資産を売却などする場合は、
譲渡所得に対しての納税額なども考慮した金額を、
算出する必要があります。

このような注意点を考慮いただき、
生涯の家計収入、支出そして貯蓄を
シミュレーションしていきます。

その結果、

色々心配したけど、
今の家計収支を維持していけばよいとか、

将来の生活のため、
現在の支出の一部を、
貯蓄に回した方がよいかもしれないとか、

なかには、
このままでは、
年を取ってから家計が成り立たなくなるので、
思い切った支出の削減が必要になるかもしれない、

といった検証結果が出てくるかもしれません。

直近に、自己努力だけでは生活が成り立たなくなる、その傾向がある場合は、

早急に、お住まいの市役所や区役所などの行政機関の窓口にご相談した方が良いでしょう。

通常、このシミュレーションは、年に1回ずつ上記の3項目をチェックして、

必要な時に、必要な項目を改善していきます。

世の中が、逼迫して、特に、経済の状況が不透明なときや、

また、ご家庭の事情に応じて、チェックする頻度を増やしても良いかもしれません。

手遅れにならないうちに、行動を起こすことが大切です。

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

どのような時代でも、

私たちの生活は、

- ・ 収入
- ・ 支出
- ・ 貯蓄・資産

から成り立っています。

従って、家計を調整できるポイントでもあります！

■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより

愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員 (R) 」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

■編集後記

今回のような、
将来の家計収支のシミュレーションすることなく、

ただ、漠然と、

これからの家計を心配している方がいます。

したことの無い方、
また、最近していない方は、

少し時間がかかります。

しかし、一度シミュレーションを試みることを
おすすめいたします。

暗中無策の心配がなくなるでしょう！

【人生の添乗員 (R) 】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
